

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、高丘圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和5年9月27日（水）9時30分から11時00分まで
参加者	委員：14人 事務局：12人
場 所	北部協働センター 第2・3講座室
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 生活支援体制づくり協議体会長 欠席の為省略</p> <p>3. 協議内容</p> <p>(1)前回までの振り返り パワーポイント資料を用いて、前回までの活動の振り返りをした。</p> <p>今までの協議体会議での意見をふまえ、第1回協議体会議であがった認知症に関する各テーマについてまずは、協議体として地域へどのような内容を発信していくのか。具体的には、認知症に関するチラシを作成し、萩丘中、葵・高丘地区に住んでいる人たちに向けて配布する方向で考えており、具体的な形や配布方法などについては協議をしていく。</p> <p>委員より 介護者の視点から「徘徊等の症状がある当事者との向き合い方・工夫」</p> <p>①安全の確保をする 住宅・室内の危険を排除する（転倒・落下などなど）</p> <p>②根気強く接する</p> <p>③理解をする コミュニケーションを大切にする、関わりを持つことで感情的な安定が図られる</p> <p>④色や形で認識を助ける トイレの場所、自分の部屋のドア、町内の看板など色付きのものはマークとなり、自分がどこにいるか認識することを助ける</p> <p>⑤日常生活のリズム 規則正しい日常生活、適切な睡眠・食事</p> <p>⑥専門家への相談 症状や状況に応じた支援</p> <p>※大切なこと⇒言葉（声掛け、コミュニケーション・・・） 介護者へ⇒周りからのやさしい言葉</p> <p>(2)グループワーク 協議体から地域へのチラシについて</p> <p>Aグループ テーマ：認知症とは 通信に掲載するテーマを話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接し方、声掛けの仕方（ゆっくり話すなど ポイント） ・子どもたちにもわかるよう 認知症をわかりやすく、医学的なもの以外で ・どんな困りごとがあるの？ ・徘徊に対応するポイント、周りが出来ること（街中の目印など） ・自助の向上、周りの配慮 認知症当事者への尊厳の尊重 ・具体的に困った例を取り上げ紹介

- ・当事者家族が取り組んでいること、心がけていること
- ・家族の苦労や体験談
- ・相談の流れ、相談先 介護サービスについての説明
- ・認知症チェックリスト 本人への動機づけにつながる
- ・早めにわかるほうが良いということを知らせる 早期発見、早期対応
- ・広報は何回も繰り返し行うことが大事
- ・配布について 全戸配布・保存版が良い

Bグループ テーマ：認知症予防・居場所

- ・認知症予防にもつながるという意味で今集える居場所について
- ・各町にて開催されているサロン活動を紹介
特定のサロン紹介であると運営側にも負担が生じる可能性もあるため
萩丘中、葵・高丘地区に何か所あるかを紹介するほうが良いのでは
興味を持たれた方が問い合わせする先を紹介したら良い
- ・スポーツ関係の集まりが今居場所となっている世代でも、将来的には認知症予防
につながっていく存在かもしれないことを周知してみても
- ・サロン運営側を紹介（スタッフの話）
- ・認知症カフェの紹介 一般の人も入れることを明記する
- ・福祉施設も多くあり、交流スペースの貸出を行っているところを紹介する
- ・配布について まずは1回発行、全戸配布、文字少なめ、写真は多く

Cグループ テーマ：家族への支援

- ・認知症の周知、特別な病気ではないことを知ってもらう
- ・協議体としての活動してきたことを形にする
- ・老人会や地区団体として行っている事の紹介
- ・認知症の具体的な症状
- ・知識と実体験を知ることで、“我がごと”として考えてもらう
- ・相談先があることの広報、かかわり方を地域に発信

(4) 全体共有

- ・家族のケアをすることで家庭内暴力を予防
認知症の知識が必要、また対応までは知らない人が多い
- ・認知症カフェ・講座の実績や内容
- ・家族の気持ちを共感して欲しい
- ・ストレスがたまる、愚痴を聞いて欲しいというおmoiがある中で、
「パーシモンの会（認知症の家族の会）」をまずは知ってもらいたい。
介護していることを話せる場
- ・今、認知症の方を介護している家族に向けて、相談できる場所を知ってもらい
たいので、民生委員や包括支援センターについて正しく伝えていきたい。
- ・配布について もれがないように全戸配布
Q&Aのような形にするとわかりやすい

4. 事務連絡

5. 閉会 生活支援体制づくり協議体 副会長

今後の見通し等	地域へ協議会から認知症に関するチラシを発行するにあたって、紙面のスペースや各掲載テーマからまず具体的に絞り込みをする必要がある次回の協議体会議までに関係機関との編集に向けた打合せを行う。
---------	---